

2015年3月期 第1四半期決算説明会

ウシオ電機株式会社

2014年7月31日

＜免責事項＞本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

Lighting—Edge Technologies



Thank you
50th Anniversary

- I. **第1四半期業績概況**
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料

連結売上高、前年比2.8%減の344億円
連結営業利益、前年比36.7%減の14億円となり、減収減益決算
-通期計画は据え置き、2Q以降の積み上げを目指す-

装置事業

映像装置

映像装置の事業構造が転換期を迎えるなか、デジタルシネマプロジェクタ（DCP）の販売減少を、一般映像他でカバーしきれずYoYで19.9%減収

光学装置

従来からの季節要因に加え、前年度の第1四半期にはEUV光源関連の売上計上があったことから、YoYでは7.5%減収

営業利益

DCPの販売減と開発費負担の増加に加え、前年同期に発生したEUV光源関連の売上計上などを理由にYoYで17億円減益

光源事業

放電ランプ

露光用UVランプはほぼ横ばいで推移したものの、シネマ用、データプロジェクタ用など他すべての製品群で増収となり、YoYで15.6%増収

ハロゲンランプ

YoYでは8.1%増収。特にOA用ハロゲンランプが引き続き好調

営業利益

主にシネマ用・データプロジェクタ用放電ランプおよびOA用ハロゲンランプの販売増にともなう稼働益により、YoYで9億円増益

▶第2四半期（累計）および通期の連結業績予想については変更なし

業績サマリー

(億円)	FY13	FY14	YoY		FY13	FY14	QoQ	
	1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
売上高	354	344	▲9	▲2.8	439	344	▲94	▲21.5
営業利益	22	14	▲8	▲36.7	36	14	▲21	▲60.2
営業利益率 (%)	6.4	4.2	▲2.2P	-	8.3	4.2	▲4.1P	-
経常利益	34	17	▲17	▲49.2	37	17	▲19	▲52.1
当期利益	30	13	▲16	▲54.5	15	13	▲1	▲10.7
EPS (円)	23.28	10.66			11.89	10.66		
為替レート (円)								
USD	99	102			103	102		
EUR	130	141			140	141		

為替による通期の影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率



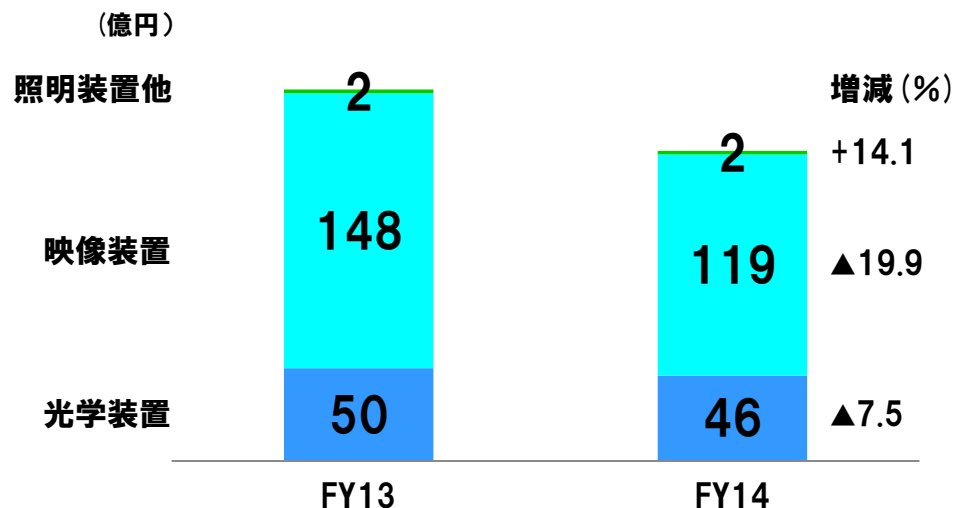
(億円)		FY13	FY14	YoY		FY13	FY14	QoQ	
		1Q	1Q	増減	%	4Q	1Q	増減	%
装置事業	売上高	200	168	▲32	▲16.4	258	168	▲90	▲34.9
	営業利益	11	▲5	▲17	-	▲1	▲5	▲4	-
	営業利益率 (%)	5.6	▲3.5	▲9.1P	-	▲0.7	▲3.5	▲2.8P	-
光源事業	売上高	148	169	+20	+14.0	169	169	▲0	▲0.1
	営業利益	11	20	+9	+80.0	38	20	▲17	▲46.0
	営業利益率 (%)	7.7	12.1	+4.4P	-	22.4	12.1	▲10.3P	-
その他	売上高	4	6	+2	+45.0	11	6	▲4	▲37.9
	営業利益	▲0	0	+0	-	0	0	▲0	▲99.0
	営業利益率 (%)	▲0.6	0.0	+0.6P	-	1.4	0.0	▲1.3P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況

《1Q前年比較》

売上高



映像装置

シネマはYoY、QoQのいずれも減収。一般映像はYoYで増収。

光学装置

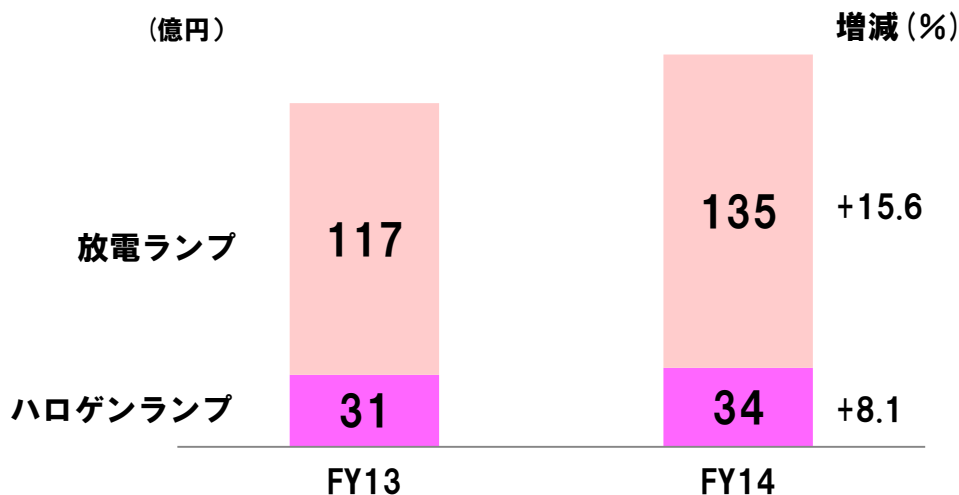
UV装置、キュア装置のいずれもYoYで増収。「その他」がEUVの事業縮小によりYoY、QoQいずれも大幅減収。

《1Q前年比較》		FY13	FY14	YoY	《直前四半期比較》		QoQ		
(億円)		1Q	1Q		(億円)			4Q	1Q
売上高	映像装置	148	119	▲29	売上高	映像装置	156	119	▲37
	光学装置	50	46	▲3		光学装置	94	46	▲47
	照明装置他	2	2	+0		照明装置他	7	2	▲4
合計		200	168	▲32	合計		258	168	▲90

光源事業セグメント概況

《1Q前年比較》

売上高



放電ランプ
UVランプはYoYでは横ばい。
シネマ用ランプはYoYで増収。
データプロジェクタ用ランプはYoY、QoQいずれも増収。

ハロゲンランプ
OA用はYoY、QoQいずれも増収。

《1Q前年比較》 (億円)	FY13	FY14	YoY	《直前四半期比較》 (億円)	FY13	FY14	QoQ
	1Q	1Q			4Q	1Q	
売上高 放電ランプ	117	135	+18	売上高 放電ランプ	135	135	▲0
ハロゲンランプ	31	34	+2	ハロゲンランプ	33	34	+0
合計	148	169	+20	合計	169	169	▲0

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

- I. 第1四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料

通期業績の見通し

(億円)	1Q	進捗率 (%) (対上期公表値)	上期公表値	通期計画
売上高	344	44.2	780	1,700
営業利益	14	26.3	55	140
営業利益率 (%)	4.2	-	7.1	8.2
経常利益	17	27.0	66	160
当期利益	13	27.8	50	110
EPS (円)	10.66	-	38.20	84.03
ROE (%)	0.7	-	2.7	5.7
配当 (円)	24	-	-	24
配当性向 (%)	225.14	-	-	28.6
設備投資額	9	-	-	80
減価償却費	13	-	-	55
研究開発費	24	-	-	105
為替レート (円) USD	102		100	100
EUR	141		130	130

装置事業

映像装置

DCPの販売は引き続き減少するも、減少ペースは徐々に平準化の見込み。一般映像のシミュレーションやバーチャルリアリティ用途の商機が増加しており第2四半期では増収を目指す。オーディオなど新シネマ事業は下期以降に立ち上がりの予定。

光学装置

第2四半期は集中する光配向装置および露光装置などの販売・検収を確実に実施し、大幅増収の見込み。ただしUXシリーズの新機種の立ち上がりは後ろ倒し。

光源事業

放電ランプ

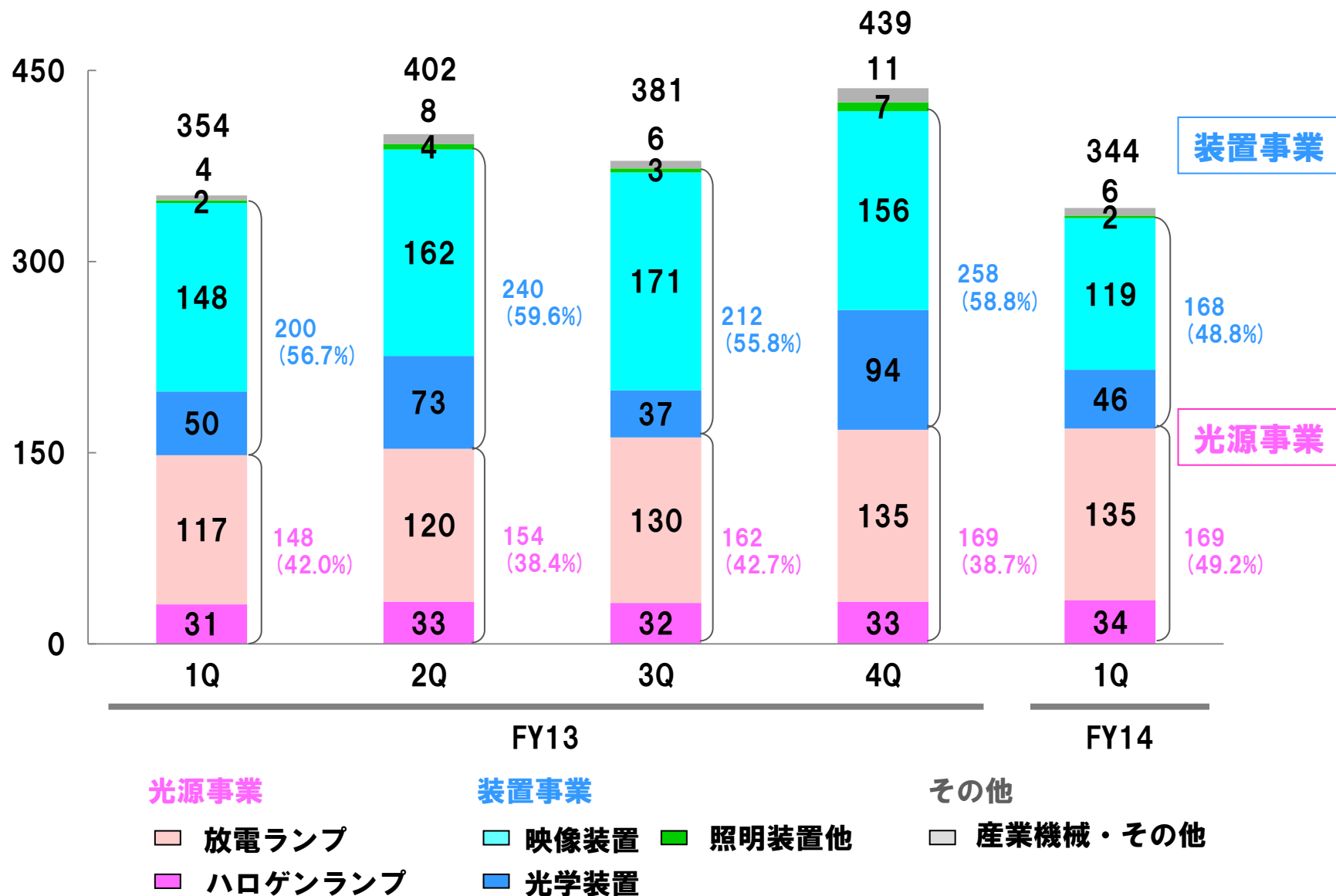
シネマ用ランプ、データプロジェクタ用ランプの販売モメンタムは引き続き強く、第1四半期比較で増収の見通し。シネマ用ランプは更なるシェアアップを目指す。

ハロゲンランプ

OA用ハロゲンランプは第1四半期比較で若干弱含みの可能性も。ハロゲン全体では産業用途などが牽引し、増収の見通し。

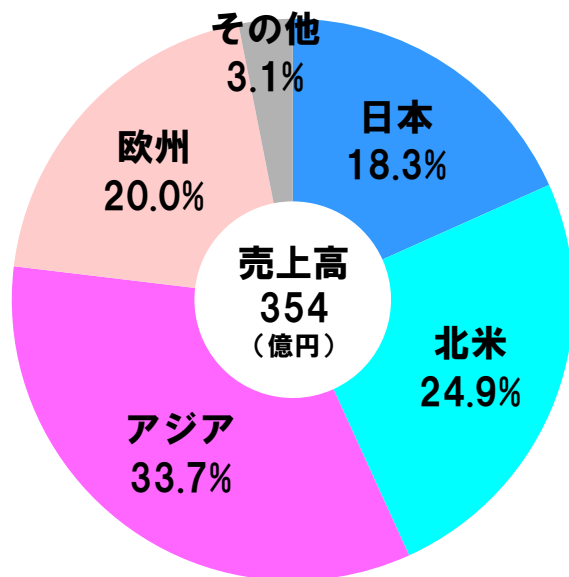
- I. 第1四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. **参考資料**

サブセグメント別売上高

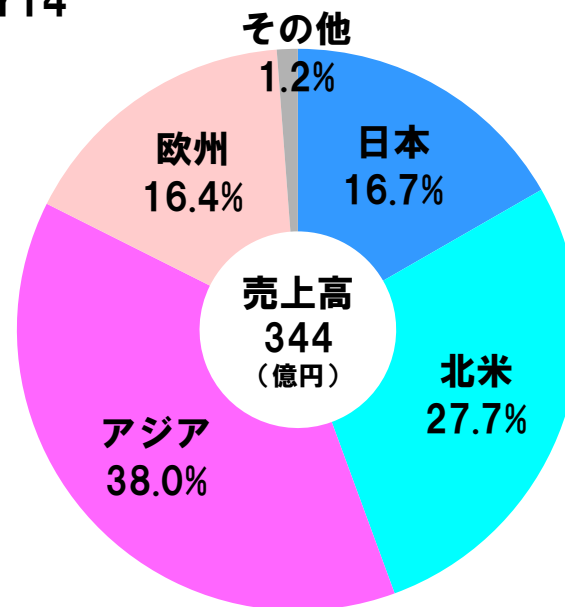


海外売上高比率 《1Q》

◆FY13



◆FY14



営業外収支《1Q》

(億円)	FY13	FY14	YoY
営業外収益	12	9	▲3
受取配当金	3	4	+0
為替差益	4	-	▲4
その他	4	4	+0
営業外費用	0	5	+5
為替差損	-	4	+4
その他	0	1	+0
営業外収支	12	3	▲8

BS内訳

◆資産

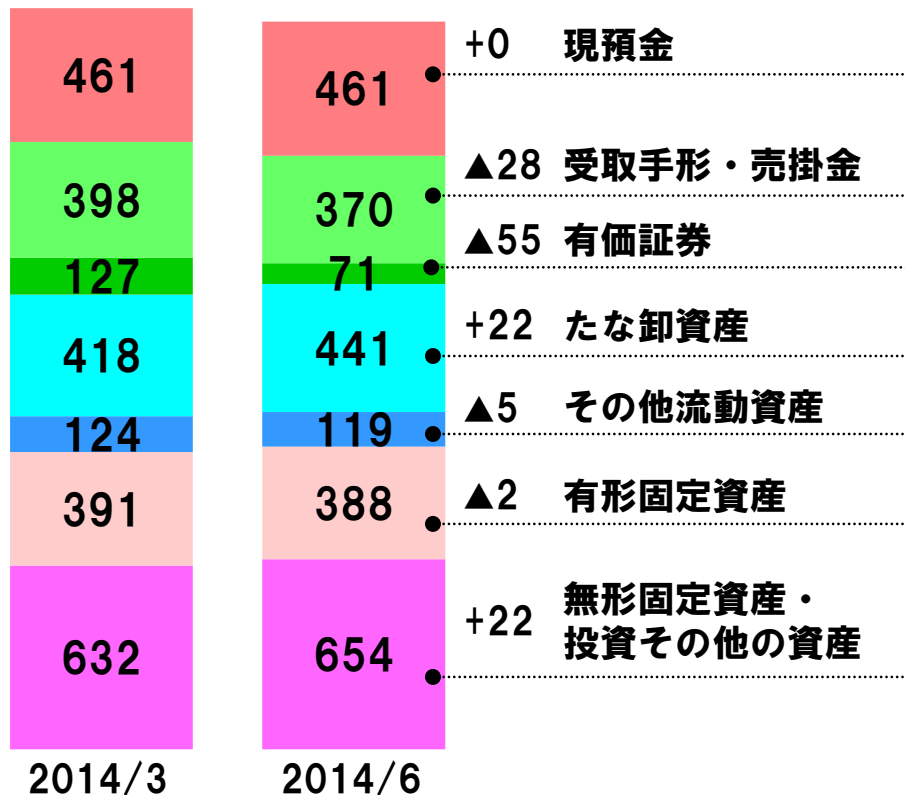
(億円)

2,553

2,507

増減

▲45



◆負債・純資産

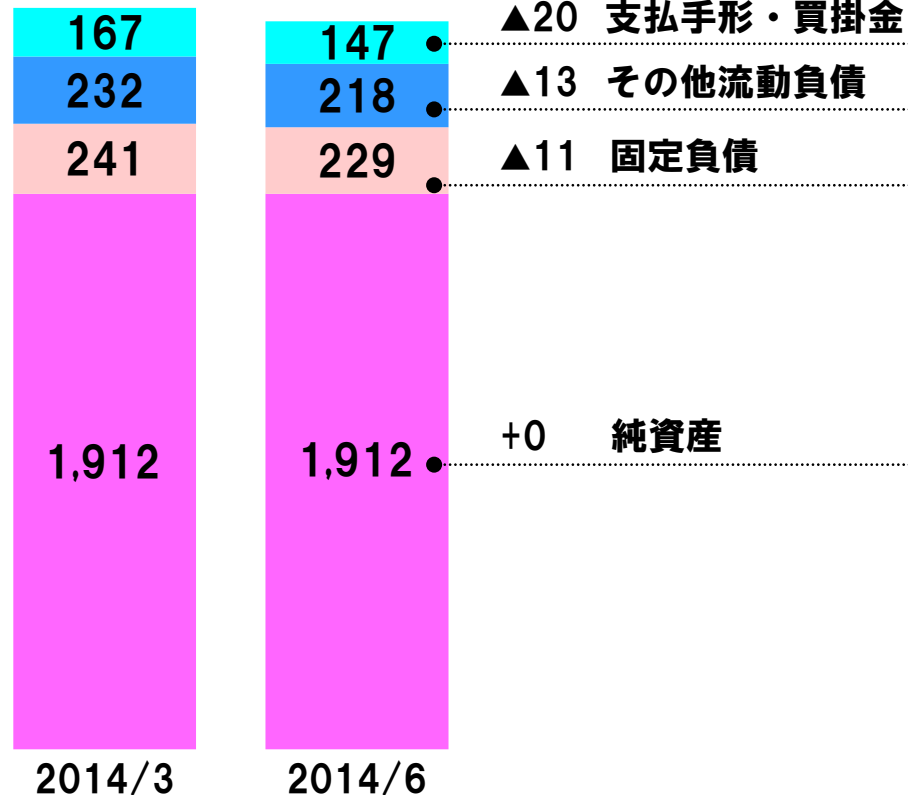
(億円)

2,553

2,507

増減

▲45



●回転月数(ヶ月)

2014/3

2014/6

売上債権

2.8

3.4

たな卸資産

3.0

3.7

●自己資本比率(%)

2014/3

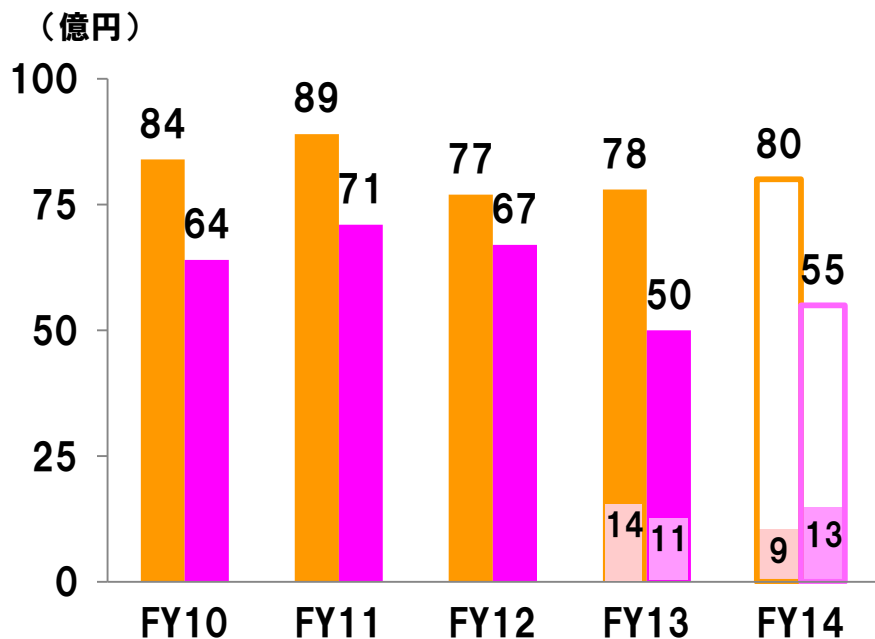
2014/6

73.5

74.9

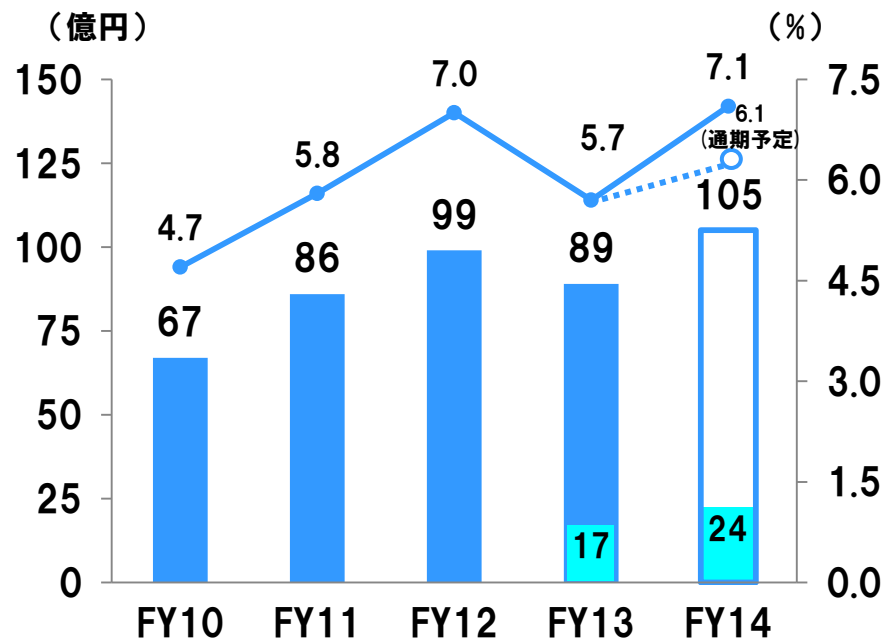
◆設備投資額・減価償却費

■ 設備投資額 ■ 減価償却費



◆研究開発費

■ 研究開発費 ● 売上高研究開発費率 (%)





Thank you
50th Anniversary

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）コーポレートコミュニケーション部
（03）3242-1836
contact@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>